

お口の中の金属が及ぼす**金属アレルギー以外**の影響



歯科治療では、詰め物や被せ物、被せ物の土台、入れ歯などに金属を使用します。お口の中に金属があると歯科金属アレルギーになるリスクがあることは広く知られていますが、それ以外にも、ガルバニー電流や電磁波の影響を受けるなど、お口の中だけでなく全身の健康に悪影響を及ぼす可能性があります。このようなリスクを避けるために、お口の中に一切金属を使わないノンメタル治療(メタルフリー治療)という治療法もあります。

ガルバニー電流の影響とは

金属の詰め物などがある歯で、アルミホイルや金属製のスプーンを噛んだときに感じるピリッとした刺激やキーンとした痛みの原因は、ガルバニー電流です。口の中は唾液によって伝導性が高いため、2つ以上の異なる金属が入っていると、その間に電流(ガルバニー電流)が発生します。その結果、自律神経が乱れ、体の痛み、疲労、不眠、イライラといった様々な症状を引き起こしますが、多くの場合、その原因がガルバニー電流であることには気づきません。



最近調子悪いのよね...

電磁波の影響とは

お口の中に金属があると、その金属がアンテナのように機能し、パソコンや携帯電話などの身近にある電気製品から発せられる電磁波の影響をより強く受ける可能性があります。「電磁波」を浴びることで過敏に反応する状態を「電磁波過敏症」といい、めまいや頭痛、吐き気、倦怠感などの症状が現れます。



ジルコニアでメタルフリーなお口の環境を

ジルコニアが歯科治療に取り入れられるようになり、これまでセラミックだけでは対応が難しかった部位の被せ物やブリッジも、全く金属を使わずに行えるようになりました。ジルコニアの最大の利点は、完全なメタルフリー治療が可能である点です。さらに、ジルコニアは軽量でありながら金属にも匹敵する強度を持ち、耐久性、耐食性、耐熱性に優れた安定した特性を備えています。そのため、審美的で体にも優しい材料として高く評価されています。

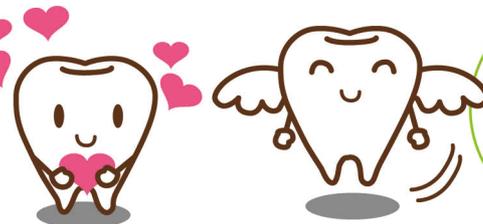
ジルコニアの特徴

白くて美しい
透過性があり、天然の歯のような美しさを再現できる



丈夫で長持ち
劣化や変色の心配がなく、傷もつきにくい。割れにくく壊れにくい

体に優しい
金属アレルギーの心配がない
汚れや歯垢がつきにくい
ため清潔



軽い
金属に比べて軽い
ため顎の骨への負担が少なく、バランスが保てる